

大工の父の苦労

新座市立池田小6年

三宅

珠音

11（新座市）

再びコロナウイルスの感染が広まっている中で、身近で一番大変な思いをしているのは大工の父だと思っています。

私たちは学校で座って授業を受けていることが多いので、マスクをしていてもそれほど影響は受けません。しかし、大工の父は一日中立って働いているので、マスクを着用しながらの作業はつらいと思います。これから夏に向けてどんどん気温が上がっていき、マスクの下は汗まみれになって、つらさも倍増してしまっているのでとても心配です。

新座市は「まん延防止等重点措置区域」に指定され、マスクの使用は絶対に不可欠な日々が続きます。今、やりたいうことを自粛して、コロナウイルスが収束するようになり、一人が努力するべきです。父のように働く人のためにも、マスクを必要としない元の楽しい生活に戻りたいです。